

日本音楽療法学会誌

JAPANESE JOURNAL OF MUSIC THERAPY

Vol.24 / No.1 2024

■特集 音楽療法の「本質」を理論的に考える—「実践」と「研究」の間（あいだ）にあるもの—

特集に寄せて：「実践」と「研究」の間（あいだ）にある金鉱脈から、金を掘り出そう！	二俣 泉	3
科学的な視点と臨床的な視点—自身の経験から感じること—	村林 信行	5
「実践」と「研究」の間（あいだ）～精神科領域に関して～	馬場 存	10
音楽療法士の技術を創造的に科学する	上羽（糟谷）由香	19
「事実」と「真実」をめぐって	羽石 英里	25
音楽療法における対象者の行動の意味を理解する—心理学的観点から行動理解—	岩永 誠	29
音楽療法のかたちは誰が創っていくのか	伊藤 孝子	37

■資 料

文献にみる音楽を用いた活動が精神症状のある患者にもたらす影響と看護職への示唆	服部かおる	44
音楽療法実践の知識構造化 —音楽療法による支援の可視化に向けて—	押山 千秋・柿崎 次子・近藤 真由・西村 拓	53

■書 評

『僕はあと何回、満月を見るだろう』	米倉 裕子	64
『基礎から学ぶ 音楽療法【再改訂版】』	高田由利子	66
『音楽の神経心理学』	森川 泉	67

■博士論文要約

「ミュージシャン-セラピスト（Musician-Therapists）」としての音楽療法士の生活世界	鈴木 琴栄	68
--	-------	----

第4回日野原賞受賞者決定のお知らせ	70
博士論文要約募集のお知らせ	72
定 款	73
役 員	78
投 稿 規 定	79
著作権の取扱い「日本音楽療法学会への譲渡」	81
編 集 後 記	82